

原料費調整制度に基づく2022年12月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年12月検針分の単位料金を調整した結果、2022年11月検針分と比べ、1 m^3 (45MJ) につき4.38円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年7月～2022年9月の平均原料価格が59,240円/t (2022年12月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を59,240円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に36 m^3 のガスをお使いになる標準家庭で2022年11月検針分と比較して、158円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年12月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24 m^3	料金表B 25～500 m^3	料金表C 501 m^3 ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/ m^3)	158.62	137.07	124.45
(参考) 11月 調整単位料金	154.24	132.69	120.07

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36 m^3 (45MJ/ m^3)	2022年 11月	2022年 12月	増減
適用料金(円/月)	6,072	6,230	158

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。

・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年6月～2022年8月 の平均 (11月検針分)	2022年7月～2022年9月 の平均 (12月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	58,170	66,810	8,640
LNG	123,030	142,800	19,770
LPG	104,190	101,820	▲ 2,370
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	30,800	39,400	8,600

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値) = 142,800 × 0.4414
+ LPG平均原料価格(貿易統計値) = 101,820 × 0.0371
= 66,809.44
↓(10円未満四捨五入)
66,810 円/t (調整上限59,240円/t)

■ 原料価格変動額の算定

59,240 円/t - 27,350 円/t = 31,890 円/t
(調整上限) ↓(100円未満切捨て)
31,800 円/t

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

単位料金調整額 = 31,800 円 / 100円 × 0.0858*1
= 27.28 円*2

- *1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。
*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m³(45MJ/m³) 適用料金(円/月)	2022年 11月	2022年 12月	増減
	6,072	6,230	158

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込) = 基本料金(1,296.10円)
+ 調整単位料金(109.79円 + 27.28 円) × 36m³
料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)
・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が59,240円（2022年12月分に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は59,240円としてガス料金の調整を行います。